



どのような思いで移住を決めたのですか

【佐藤】 都会生活が嫌になったというのも、きつかけになっていきます。渋滞や満員電車に疲れたというところもあります。鹿屋市が一番暮らしやすいと思います。



佐藤 耕一 さん
(前住所：神奈川県海老名市)

【船木】 九州は気候が温暖で、南に下るほど、人も陽気になってくるのを感じました。寒いのが苦手だったことも原因です。鹿屋は肉や野菜がとてもおいしいと感じますね。



松木 克祐 さん・聖子さん夫妻
(前住所：鳥根県浜田市)

にお金もかからないと思います。

【井上】 移住先の条件として、今までずっと都会暮らしだったので、本当の田舎では暮らしにくいと考えていました。

鹿屋市は、ある程度都会で利便性もあって、移住先の条件を満たしていました。自然も豊富で、観光地もあり、都会的な環境もあります。

いくらでも楽しいところがありますね。

【船木】 移住情報については、これからはSNSだと思っています。移住先の情報をインターネットで探して、九州地区でこちらが必要な情報が出ていたのは、鹿児島県内では鹿屋市と大崎町だけでした。

「空き家バンク」の情報もたくさん出ていて、物件の間取りや部屋の状況等、具体的に把握できたのも鹿屋市だけでした。

住宅改修助成制度については助かりましたが、助成金を目当てに来た人は、それを目当てに、またほかの市へ移住してしまうのではないかと思います。なので、あまり助成制度を重視しなくてもいいのではないのでしょうか。移住してくる人の質が落ちる気がします。

移住者との「本気」で語ろう会を開催しました

10月23日、吾平町上名の黒羽子地区で、鹿屋市への移住者との「本気で語ろう会」を開催しました。会場は、今年5月に神奈川県藤沢市から移住してきた井上亮さんが住む一軒家。

井上さんを含む4世帯6人の移住者と、井上さんの住宅のオーナーである大園次男さん・トミ子さん夫妻が参加し、移住のきっかけや、鹿屋市の魅力などを本気で語ってもらいました。

※参加者の発言内容は一部省略しています。



鹿屋市に来て感じたことを教えてください

【川口】 鹿屋市は志布志に近く、「さんふらわあ」などがある



川口 勲 さん・千代美さん夫妻
(前住所：滋賀県東近江市)

ので、バイクを乗る人にとっては、アクセスがいいと思います。そういう魅力アピールしたらいいと思います。

【井上】 農業に従事している人でも、一部の人はかなりの所得を得ているようです。そういった面でもアピールすれば、鹿屋市に移住者も増えるのではないかと思います。

【船木】 鹿屋市に来て農地がいっぱいあることに将来性を感じました。トラクターが道路を走っているのを見てびっくりしました。串良でも農業が集約されていて、大規模集約型の農業

INTERVIEW

空き家に住んでくれる人がいて私たちも家も喜んでいきます



「空き家バンク」オーナー
大園 次男さん・トミ子さん夫妻

私(次男さん)は、ここ上名の黒羽子地区に小さい頃から住んでいて、30年ほど生活していました。今は同じ吾平町の下名で暮らしています。

都会暮らしの井上さんの移住については、正直、大丈夫かなと思いましたが、5月に移住して以来、誰とでも親しくなり、農作業もよく手伝ってくれたため、周囲の人も喜んでいきます。今では、井上さん本人も、野菜を作ったり、トラクターを使いこなすようになっていきます。

ここは田舎でも不自由ない場所だと思います。野菜も自分で作れるし、今は移動販売の買い物もできます。水もおいしいです。このような環境を楽しんでいる人にとっては、とてもいい場所だと思います。

どうやって「鹿屋市」を知ったのですか



井上 亮 さん
(前住所：神奈川県藤沢市)

【佐藤】 福岡県で働いていたのですが、出張で鹿児島県に来たことがあって、九州で一番好きな県になったのです。その時は大隅を訪れる機会は無かったのですが、都会に帰って移住を考えた時に、大隅地区に行きたいと思うようになりました。

都会は家賃が高いですね。こちらは仕事の賃金は低いです。が、総合的にみると、そんな

をやるのであれば適地であると感じました。

それから鹿屋市の街並みはいいと思っています。ここに住んでみて感じたのは、遺跡や戦跡がとて多いこと。ただ、案内の看板が分かりにくいですね。もっとアピールすべきではないでしょうか。現状では、探しても、どこにあるか分からないことが多いように思います。

知覧は有名ですが、鹿屋市の特攻基地は知りませんでした。

串良の平和公園も知りませんでした。

地域住民との関係はどうですか

【船木】 近所の方々がとてもよくしてくれます。地域の料理をいただいたり、作り方を教えてもらったりしています。職場の若い女性が地元から出たかないと話すのを聞くと、やっぱり鹿屋市はとても暮らしやすいところなのだなと思います。

鹿屋が「移住しやすい街」にランクイン!



朝日新聞出版発行の週刊誌『AERA』の平成27年9月14日号の特集記事「移住しやすい街110」で、鹿屋市は1位～23位圏内にランクインしました。これは、人口の流出入、子どもの数や病院の多さ、家賃の安さなどの客観的な統計データを基に『AERA』が独自に抽出したものです。全国から320の自治体をランキング付け

した上で、その中から110の自治体を選出。更に鹿屋市を含む上位23の自治体をピックアップして紹介しています。

なお、子育て世代と高齢者にとって、いずれも最高ランクと評価されたのは、鹿屋市を含む6自治体のみ。記事の中で、鹿屋市は「豊かな食材を育む自然環境を有し、市街地には商業施設・病院・教育機関などが充実。ほどよい地方都市」として、子育て世代と高齢者にとって移住しやすい街と紹介されています。